

七尾ロータリークラブ会報

創立：1955年8月17日
認証：1955年10月7日

NANAO Rotary Club Weekly Report

題字 清水 聖鵬 (旧展作家)

2026.5.22 No.2479

第 3371 回 例会プログラム

- ・日 時：2026 年 5 月 22 日 (金) ・12：30～
- ・場 所：例会場
- ・内 容：マイロータリーの登録作業

第 3370 回 例会 報 告

- ◇日 時：2026 年 5 月 15 日 (金) ・12：30～
- ◇場 所：例会場
- ◇内 容：ガバナー補佐訪問

国際ロータリー第 2610 地区 第 3 グループ
ガバナー補佐 中 村 敏 幸 様

- ◇司会 副 SAA 宮 崎 昇一郎
 - ◇開会点鐘 村 田 成 司 会長
 - ◇ロータリーソング 「四つのテスト」
 - ◇ゲスト紹介 村 田 成 司 会長
- 国際ロータリー第 2610 地区 第 3 グループ
ガバナー補佐 中 村 敏 幸 様

- ◇会長挨拶 村 田 成 司 会長



本日も例会にご参加いただき、ありがとうございます。今日は、一昨日 昨日と行ってまいりましたクラブ親睦旅行のご報告と、そこから感じたことを少しお話しさせていただきます。

一昨日 昨日と 1泊2日 で小松の安宅神社 そして福井方面 芦原温泉に私を含めて 9名で行ってまいりました。出発前は「9名か、少し少ないかな」と思っていたんですが、行ってみるとこれがちょうどいい人数でした。移動中も温泉でも食事の席でも、自然と会話が生まれて、ずっと笑いがある、そんな時間でした。普段の例会ではなかなかゆっくり話せないメンバー同士が、仕事の話だけでなく、昔の話や価値観の違いまで、いろんな話ができたと印象的でした。

その中で感じたのが、「人それぞれ本当に違うな」ということです。考え方も違う、価値観も違う、年齢も違えば、生きてきた時代も違う。でも、その違いがあるからこそ、話していて面白いし、「なるほどな」と思うことも多い。むしろ、みんな同じだったら、ここまで会話も広がらないのかもしれない。

ここで思い出したのが、今月の小山ガバナーのメッセージ「多様性を受け入れる」という言葉です。頭では分かっている、実際には自分と違う意見に出会うと、少し構えてしまうこともあります。ただ今回の旅行のように、一緒に時間を過ごして、ゆっくり話をしていくと、その違いも自然と受け入れられていくと感じました。寿司屋で言えば、ネタはいろいろあっていい。白身もあれば、光り物もあるし、さっぱりしたものもあれば、しっかりした味のものもある。それぞれ違うからこそ、全体としての楽しさや深みが出る。全部同じネタだったら、やっぱり飽きてしまいま

す。

ロータリーも同じで、いろんな人がいて、いろんな考えがあるからこそ、クラブの力になるんだと思います。そして、その多様性を受け入れるためには、やっぱりこういう「親睦の時間」が大事だと感じました。

顔を合わせて、言葉を交わして、お互いを少し知る。それだけで、不思議と相手の考えも受け止めやすくなる。今回の旅行は、そのきっかけになる時間でした。

参加された皆さん、ありがとうございました。そして今回はご都合が合わなかった方も、次はぜひ私も含め一緒にできれば嬉しいです。

最後に一つ。違いを無理に揃えるのではなく、その違いをそのまま活かしていく。それが「多様性を受け入れる」ということなんだと感じています。

本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

◇津田晃ホストファミリーお礼



◇出席報告

会員 49名 30名 (Zoom1)

◇委員会報告

- ・国際青少年交換委員会 エンゾ君帰国日程のご案内。
6月28日(日) 18:00～20:00 送別会 場所未定
7月1日(水) 帰国

◇幹事報告

1. 入会候補者 鳥毛 美知世さん、高津 久仁枝さん
2. 5/16 米山学友会 20周年記念式典 金沢ニューグランドホテル
3. 5/17 米山学友会 七尾来訪 (村田会長、高橋副会長、高田幹事)
4. 5/18 18:30 70周年実行委員会 番伊
5. 5/24 ロータリーユースデイ 打ち合わせ (南会員)
6. 次週例会は希望の丘清掃です。作業できる服装でお越しください。
7. 例会出席記録 各テーブル 2枚
8. ニコニコ箱 目標額 1,200,000円 現時点 1,052,000円 不足額 148,000円

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会 長 村 田 成 司
副会長 高 橋 齊
幹 事 高 田 誠 一
例会日 金曜日 12:30～13:30
例会場 七尾産業福祉センター

「超私の奉仕」 「最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる」

ニコニコ箱報告 杉浦 由美子

国際ロータリー第2610地区第3グループ
 ガバナー補佐 中村 敏幸
 ガバナー補佐として、本年度最後の訪問となります。
 大変お世話になりました。
 村田会長 中村ガバナー補佐ようこそ！本日はよろしく
 お願い致します。
 津田直前会長 中村ガバナー補佐ようこそ。
 伊藤会長エレクト 中村ガバナー補佐、本日はよろしく
 お願いします。
 高田幹事 ガバナー補佐の中村様、本日はよろしくお願
 い致します。
 大根 富男 先週は誕生祝いありがとうございました。
 石橋 宏文 親睦旅行に行ってきました。天候に恵まれ、
 楽しい旅でした。
 宮川 晴行 ガバナー補佐ようこそ。本日はよろしくお
 願います。
 木下 義隆 中村ガバナー補佐、よろしくお願います。
 宮崎昇一郎 中村ガバナー補佐、本日はよろしくお願
 います。
 白山 竜俊 中村ガバナー補佐、七尾RCへようこそ。
 鰻目 孝和 本日もよろしくお願います。
 杉浦由美子 親睦旅行とても楽しかったです。

や秀吉は人の言うことを聞かない。常に自分が正しい
 と思っており、謙虚さが無い。徳川家康は幼いこ
 ろから人質になるなど大変な苦勞を重ねてきました。
 その間、色々な人の話を聞き、書物を読むなど勉強
 したり、色々な経験を積み、それが後に250年近
 く続く徳川幕府の礎となりました。一番幸せだった
 のは、人の話を聞いて、読書して、いろいろ学んだ
 徳川家康ではないか。お釈迦様のいう大切な3つの
 ものは、1つは人生の機知、2つ目は人生の教え、
 3つ目は人生を共に語り合える友。この3つが大事で
 あると言っています。これから一生付き合える友人
 を持つ。人生についての教えもある。あんな人にな
 りたいとかいろいろなことを学びたいということをつ
 かめるのがロータリークラブです。

日本のロータリーの創設者である米山梅吉さんは
 ロータリーは人生道場。人生を学べる場所である
 と言っています。将来自分の会社を任せたいと思
 う時には、廊下の片隅に小さな紙を置いておき、そ
 を通る人が、それを拾うかまたぐか見て、将来を判
 断することができる言っています。成功と失敗
 は、チャレンジしたから失敗した。チャレンジしな
 かったから成功した。人物を決める時、あなたが
 いい、あなたでいい。かどで全然違います。笑顔で
 感謝し耳を傾ける。思いやりを持つこと。このよ
 うなことがこの2冊には書いてあります。

よくロータリーとライオンズはどこが違うか聞か
 れます。ロータリーはライオンズより12年ぐ
 らい先にできました。両クラブはどちらも地域社会や世
 界の課題解決に貢献する国際的な社会奉仕団体
 であり、会員の年会費で運営され、宗教や政治に中立
 です。また、入会には既存会員からの推薦が必要と
 され、奉仕の精神を中心理念としています。(ロータ
 リーはI serve、ライオンズはWe serve)

両クラブとも社会貢献の機会を提供し、会員同
 士の絆を大切にする文化があります。自身の興味や生
 活スタイルに合ったクラブを選ぶことで、奉仕活動
 を通じた成長や新しい出会いを得ることができます。
 ロータリークラブは1905年創設と歴史が古く、
 当初は会員同士のビジネス交流や親睦が主な目的
 でした。そこから徐々に社会奉仕へと活動の軸足を移
 していきました。一方、ライオンズクラブは1917年
 の創設時から「社会に有益な団体」となることを目
 指しており、当初より奉仕への志向が明確でした。
 つまり、ロータリーは「職業人の交流から奉仕へ発
 展した組織」、ライオンズは「奉仕を目的として人々
 が集った組織」という違いがあります。

◇卓話

国際ロータリー第2610地区第3グループ
 ガバナー補佐 中村 敏幸 様



本年度第2610地区第3グループ
 のガバナー補佐を務めさせて
 いただいております中村です。今
 日で4つ目です。ガバナー補佐
 になってくれと言われたときに、
 私は何も知らなかったもので、1
 年間やれば良いと思っていま
 した。それでOKしたら、2025年
 7月1日から2026年の6月3

0日までとっておりました。ところが2024年
 の10月から始まりました。それでもう19か月超
 えています。大変なことでした。それもあと少しで終
 わります。あと1カ月で終わります。田中久夫さん
 の「ロータリークラブに入ろう」という本を一通り
 読みました。ロータリークラブはすごいなと思いま
 した。同じ作者の第2弾が発刊されました。「そう
 だったのか？ロータリークラブ」という本です。これ
 を読んだ中で思ったことをいろいろお話したいと思
 います。まずレンガを積む3人の人のお話です。な
 ぜレンガを積んでいるんですかと尋ねたら、一人目
 の人は「流されているんです」と答えました。二人
 目の人は「積んだ分だけお金をもらえるから」と答
 えました。三人目の人は「喜びと楽しみを見出すた
 めに」と答えました。やはり働くことが楽しく、将
 来のことを思う働き方がいいと書いてありました。
 ロータリーにも面倒くさいことがいっぱいありま
 す。面倒なことほど記憶に残るし、ロータリーのイ
 ベントも大変ですが、それはありがたいものだと思
 う事が大切です。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の
 3人の武将のうち、だれが一番幸せだったか。信長

★例会を動画で見ることができま
 す！
 クラブ協議会の続きはこちら！



次週例会プログラム

5月29日例会は休会となります。